

人権週間記念のつどい
ネットワーク大東設立10周年記念事業

MINAMATA

—ミナマター—

2023

12/8 金

18:30開演 (18:00開場予定)

サーティホール

(JR学研都市線住道駅から約500メートル)

1,000人 (要約筆記・手話通訳あり)

【入場整理券配布場所】 11月8日(水) から配布

- 人権室 (市役所3階)
- 総合文化センター2階事務所
- 市民体育館
- 生涯学習センター「アクロス」
- まなび北新
- 北条人権文化センター
- 野崎人権文化センター
- 諸福老人福祉センター
- 来ぶらり南郷

で配布。



◀ 電子申請でのお申し込みはこちら

ジョニー・デップが
キャリアの全てをかけて伝える
世界への警告と希望の光

バリアフリー版(字幕)で上映します

入場無料
入場整理券必要

第1部 映画「MINAMATA」上映会

ストーリー

1971年、ニューヨーク。
アメリカを代表する写真家の一人と称えられたユージン・スミスは、今では酒に溺れ荒んだ生活を送っていた。
そんな時、アイリーンと名乗る女性から、熊本県水俣市にあるチッソ工場が海に流す有害物質によって苦しむ人々を撮影してほしいと頼まれる。
水銀に冒され歩くことも話すことも出来ない子供たち、激化する抗議運動、それを力で押さえつける工場側。
そんな光景に驚きながらも冷静にシャッターを切り続けるユージンだったが、ある事がきっかけで自身も危険な反撃にあう。
追い詰められたユージンは、水俣病と共に生きる人々にある提案をし、彼自身の人生と世界を変える写真を撮る。

第2部 アイリーン・美緒子・スミス氏 講演会 ～ユージンと私のMINAMATA～

プロフィール

1950年、東京生まれ。水俣病取材のため、水俣に3年間住む。
1975年、写真集「MINAMATA」(英語版)をユージン・スミスと出版。
1980年、写真集「MINAMATA」の日本語版「水俣」を出版
(W.ユージン・スミスと共著)
1983年、コロンビア大学で環境科学
(公衆衛生学部) 修士号取得。
1983年以来、原発の安全性の問題に取り組む、1991年に脱原発、プルトニウム利用問題などに取り組む市民グループ「グリーン・アクション」を設立。
2021年、写真集「MINAMATA」
(日本語版)を再出版。
現在はNGO グリーン・アクション代表、
(有限会社)アイリーン・アーカイブ社長、水俣写真家の眼プロジェクト理事を務める。



© Larry Hofricks

問い合わせ

大東市人権室 ☎ 072-870-0441 FAX 072-872-2268

主催

大東市・大東市教育委員会・人権啓発ネットワーク大東